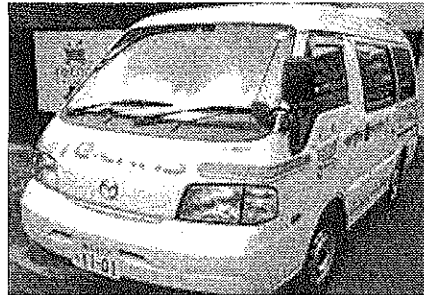


訪問入浴に本格参入

3年後、80店舗へ

機能訓練特化型リハビリデイサービス「nagomi(なごみ)」を展開しているイー・ライフ・グループ(東京都豊島区)は、5月に訪問入浴サービス「re:CRAS(リクス)」の1号店を開設した。

「nagomi」の既存加盟店を中心にFC加盟を募り、3年後には60から80店舗の展開を目指す。同社は、「3万人のシニアに笑顔を」をテーマ



▲「高濃度炭酸泉」設備を導入した訪問入浴車

介護事業所と地域の中でのフルラインナップ事業所とで「極化」しています。このため、市場は硬直化しており、サービス内容も大きな変化がありません。身体的介護負担が一番大きいだけに、在宅介護を継続する上で必須の事業と考えました(小川義行代表)

「訪問入浴事業は2500事業所前後で推移しています。介護保険導入前の措置時代から、大手



イー・ライフ・グループ代表 小川義行

「re:CRAS練馬東店」は、半径3キロ圏内

に「nagomi」が7施設ある東京都練馬区に開設。今年11月を目途に2号店をオープンさせ、

その後はドミナント展開にて拠点数拡大を図っていく。来年度からは「nagomi」の既存加盟店を中心にFC加盟を募り、3年後には60から80店舗の展開を目指す。

同社は、「3万人のシニアに笑顔を」をテーマにリハビリデイサービスを展開しているが、利用者は要支援1から要介護3までが中心。そこで、要介護者4、5の高齢者を対象とした在宅分野における介護保険サービス



▲「re:CRAS練馬東店」のスタッフ

「訪問入浴サービスは、①身体の清潔・保持、②皮膚病・褥瘡などの病気の予防、③心身のリラックスマス、④バイタルサイン・皮膚状態観察などの健康管理、⑤関節痛緩和・血

の症状が緩和されるほか、糖尿病、神経痛・リウマチの疼痛緩和、冷え性・高血圧・肩凝りや血行障害の改善など、幅広い効能が報告されているという。

「訪問入浴サービスは、を組み入れた入浴プログラム」の強みでもあるリハビリ

行促進・拘縮予防などの期待でき、重度要介護者にとっては欠かすことのできないサービスです。今後は「nagomi」